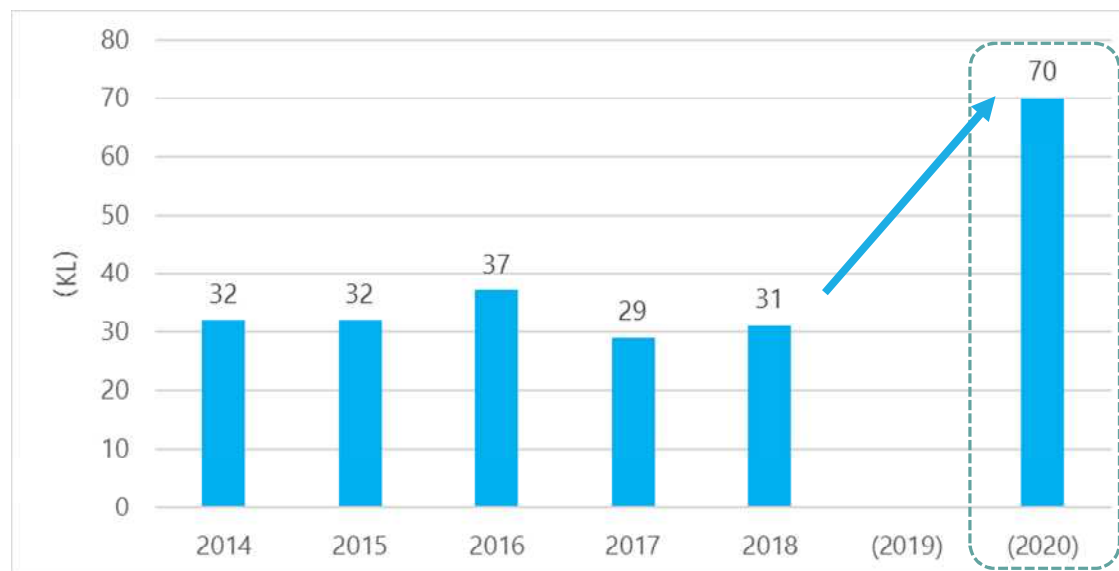


琉球泡盛海外輸出プロジェクト 2018年の実施状況 まとめ(19.04.14)

プロジェクト事務局

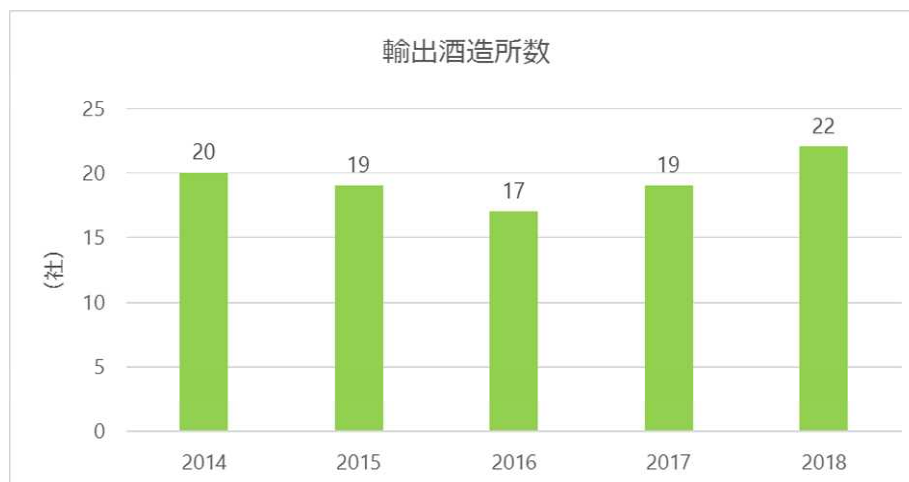
琉球泡盛の輸出状況



出典：沖縄県酒造組合調べ。(30度換算)

- 2018年は約31KL(対前年約6%増)にとどまる。
- 当面の目標である2020年に70KLを達成するためには、2年間で約39KLの増加(約2.3倍増)が必要。

酒造所別の輸出状況①



出典: いずれも沖縄県酒造組合調べ

酒造所別輸出数量の対前年増減(2018年)

数量増加	数量減少
15社	7社

■輸出国(平成30年時点) ※合計25の国・地域
 アメリカ、カナダ、メキシコ
 中国、台湾、香港、マカオ、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、パラオ、インド、ネパール
 ロシア、オランダ、スペイン、スイス、フランス、ベルギー、イタリア
 オーストラリア、ニュージーランド

- 2018年に輸出を行った酒造所は22社で、最近では最多。
- 2018年では15社(68%)が、輸出量で対前年を上回る

酒造所別の輸出状況②

2018年に輸出した酒造所別輸出数量増減の要因(複数回答)

増加要因	回答社数
インバウンド観光客の増加(輸出免税)	2
全体として増加	1
中国での増加	2
台湾での増加	1
韓国での増加	1
オーストラリアでの増加	2
イギリスでの増加	1
イタリアでの増加	1
アメリカ(ハワイ)での増加	1
トライアルキャンペーンの効果	1

減少要因	回答社数
全体として減少	1
中国で減少	2
台湾で減少	2
アメリカで減少	3
商品性の変化(高単価商品へシフト)	1

出典: 沖縄県酒造組合調べ

- 輸出数量の減少の要因として、商品性の変化(少量で高額の商品へのシフト)のほか、現状で数量が把握されていない泡盛ベースの「リキュール」や「原料用アルコール」商品へのシフトがある可能性がある。

支援の状況①

琉球泡盛海外輸出プロジェクト「行動計画」による支援メニューの実施国・地域

アジア	アメリカ	欧州	その他
中国	アメリカ	イギリス	インバウンド
香港	ブラジル	フランス	
マカオ	メキシコ	アイスランド	
台湾		デンマーク	
韓国		オランダ	
シンガポール			
タイ			
ベトナム			
インド			

出典:プロジェクト事務局調べ。

- 2018年度で17の国・地域及びインバウンド(国内)で展開。

支援の状況②

2017～2018年に輸出を行った酒造所(23社)に対する琉球泡盛海外輸出プロジェクトによる支援の状況

概況	社数
支援を受けた	19
輸出が拡大した	12
輸出が減少した	7
支援を受けていない	4
輸出が拡大した	3
輸出が減少した	1

出典：沖縄県酒造組合及びプロジェクト事務局調べ。

注) 支援策は、国内におけるインバンド向けのプロモーション等は除く。

上記のほか、2017～2018年に輸出を行っていない酒造所(10社)も支援をうけている。

- 2017～2018年に輸出を行った酒造所の約8割が、プロジェクト「行動計画」の支援メニューにより支援を受けている。
- 一方で、その現時点で効果が発現していないと推測されるものは、その約4割。
- 2017～2018年に輸出を行っていない酒造所(10社)も含めると、29社が支援を受けている。(全泡盛酒造所の約6割)

琉球泡盛海外輸出 プロジェクト 行動計画（改定案）

平成30年3月7日

平成31年4月〇日改定

1. 行動計画

【現状と課題】

泡盛製造業は、沖縄の貴重な地場産業として、雇用の確保や地域経済の振興等に重要な役割を果たしています。

しかし、沖縄県酒造組合、泡盛酒造所を始めとする泡盛製造業関係者による、琉球泡盛の消費拡大に向けた取組にもかかわらず、近年、出荷数量が減少傾向にあるなど、厳しい状況に置かれています。

一方で、平成30年には290万人の外国人が沖縄を訪れ、7年連続で過去最高となるなど、海外における琉球泡盛の認知度向上を図るには、今追い風が吹いています。

こうした中で、平成30年4月、これまで、国、県、関係団体がそれぞれに支援してきた琉球泡盛の輸出に向けた取組を官民一体となって推進促進するため、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」を立ち上げました。

また、同年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」では、「琉球泡盛の海外輸出プロジェクトなどを通じ、沖縄県産酒類の振興を促進する」とこととされるなど、本プロジェクトは、沖縄の振興を図る上でも、大きな柱の一つとして位置付けられています。

【プロジェクトの取組】

「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」では、泡盛製造業関係者が自ら定めた「3年後に倍増」計画（泡盛輸出数量を2020年に70キロリットル、2022年に100キロリットル）を実現するため、泡盛の輸出拡大への課題に取り組み、泡盛酒造所の海外輸出に向けた取組を官民一体となって後押ししています。

その1年目となる2018年は、泡盛酒造所29社に対して、プロモーションや商談の実施などの支援を行いました。また、支援を国・地域別にみると、17の国・地域となっています。（国内で実施するインバウンド向けの事業等を除く。）

その結果、2018年に琉球泡盛の海外輸出を行った酒造所は22社と、2017年の19社に比べて増加しています。

その一方で、総輸出量は、約31キロリットルと、2017年の29キロリットルと比べて約6%の増加に止まっています。

本プロジェクトの目標である2020年の70キロリットルを達成するためには、今後2年間で約2.3倍増と、取組の加速化が必要です。

そのためには、これまでの「訪日外国人に対する視点」と「海外市場に対する視点」に「具体的な商流につなげるビジネスの視点」を加えた3つの視点で取組を進めていきます。

①訪日外国人に対する視点

「本格焼酎・泡盛の輸出基本戦略」（平成28年3月日本酒造組合中央会）にあるように、まずは沖縄を訪れる外国人観光客、特に中国本土を始めとするアジアからの観光客に琉球泡盛の魅力を効果的に伝えることにより「泡盛ファン」を増やすとともに、沖縄県内でスムーズに琉球泡盛を「観光土産」として購入できるように、取組を進めていきます。

さらに、訪日外国人が帰国後に、現地で「泡盛ファン」（＝インフルエンサー）として、琉球泡盛の普及につなげることができるように、現地での情報提供や、提供者・販売者への支援に向けて取組を進めていきます。

②海外市場に対する視点

琉球泡盛は、ウオッカ、ジン、テキーラなどと並んで、世界的な「ハードリカー」としての可能性が秘められています。琉球泡盛の北米、欧州の市場への浸透を図るために、「テロワール」や、空手や琉球料理を始めとする沖縄の歴史や文化も含め、ターゲットを絞ったプロモーションを進めることにより、琉球泡盛の認知度向上に向けた取組を進めていきます。

③具体的な商流につなげるビジネスの視点

琉球泡盛の海外での販路拡大に向けて、インポーターやディストリビューターなど輸出入のノウハウ・販路を有する様々なビジネスセクターと泡盛事業者とのマッチングといったビジネスサイドが主体となった取組を促進していきます。

【会員の取組】

プロジェクト会員は、3つの視点を踏まえながら相互に連携し、それぞれが以下の取組を行います。

（１）情報発信の強化

- ・ 2018年度にリニューアルした泡盛百科において、各酒造所の紹介PVを通じて、身近な酒造所としての情報発信集約サイト及び多言語対応に取り組みます。また各酒造所の、旬なイベント施策や新商品情報なども、閲覧できる集約サイトとして運営していきます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 海外プロモーション事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）
- ・ 情報発信については、国内外のイベント等の機会や、SNSなどを活用して行います。また情報発信に際しては、国・地域による嗜好の違い等を踏まえ、効果的に行えるように留意します。（内閣府知的財産戦略推進事務局）
- ・ 国税庁の施策のみならず、他のプロジェクト会員が実施する施策において、依頼に応じて酒造技術の専門家である鑑定官の講師派遣を行い、実施施策の目的に応じたレクチャー等を行うことでその効果増大を図ります。（国税庁）
- ・ クルーズ船や、空港国際線ターミナルなど多くの外国人と接触できる機会を捉えて態様に応じたプロモーションを行い、泡盛の魅力を効果的に伝えることで、泡盛の需要を開拓し、商流のきっかけを作ります。（国税庁、沖縄国税事務所）
- ・ 泡盛クイーンズサポーターの委嘱、インバウンドに対応した情報発信ツールの整備を行い、それらをプロジェクト内外の施策を通して活用することで琉球泡盛の魅力を発信します。（沖縄国税事務所）
- ・ 海外の酒類関連見本市・商談会への出品や、日本国内（特に沖縄）への海外メディア・インフルエンサー等招へいの機会等を活用して、泡盛の海外情報発信を強化し、泡盛の輸出促進を図ります。（（独）日本貿易振興機構）

(2) 効果的な販路拡大・市場拡大

- ・ 泡盛百科内に構築したポータルサイト等を活用し、本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行います。（プロジェクト事務局）
- ・ インバウンドの観光客や在沖外国人を主体とした国別客層ペルソナ調査分析結果を踏まえ、各酒造所が効果的に活用できるよう情報を共有します。また調査分析データの「鮮度」を保つために、適時インバウンド調査等を実施します。（沖縄県酒造組合）
- ・ 各国のバイヤーが来場する国内の大型酒類展示見本市へ出展します。（沖縄県酒造組合）
- ・ 沖縄国際物流ハブ活用推進事業、沖縄大交易会、海外事務所による現地サポートなど沖縄県産業振興公社の有する中小企業支援メニューを活用し、泡盛酒造所の海外展開を支援します。（（公財）沖縄県産業振興公社）
- ・ 海外プロモーション事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）【再掲】
- ・ 米国・台湾での泡盛取扱業者への輸出とその業者と県内メーカーとの調整を行います。（（株）沖縄県物産公社）
- ・ 本年前期中にパートナーとなりえる販売会社の発掘、契約締結し、米国西海岸（カリフォルニア州）を中心に販路を構築します。その後他州（ニューヨーク、フロリダ他）への拡販を図ります。（（株）沖縄県物産公社）
- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）

- ・ 海外市場において、泡盛製造業者が主体となって、泡盛の輸出を促進するための「ブランド・イメージ」の在り方の検討、現地でのテスト・マーケティング等の事業を実施します。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県）
- ・ 沖縄発の世界ブランドである空手と泡盛の関係性を活用し、空手家を新たなターゲット層とした市場拡大に取り組みます。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄県酒造組合）
- ・ 沖縄総合事務局が有する支援メニューの活用、関係機関との連携を行い、欧米への販路拡大を図る企業の取り組みを支援します。（内閣府沖縄総合事務局）
- ・ 沖縄県卸売酒販組合の会員に対して研修を実施し、泡盛の知識の向上を図るとともにインバウンドに対する商品説明能力の向上に取り組みます。（沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）
- ・ 沖縄県小売酒販組合の会員に対して研修を実施し、インバウンドに対する販売力の強化に取り組みます。（沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）
- ・ 輸出に積極的な泡盛事業者に対し、各国の酒類専門バイヤーに商品（琉球泡盛）を効果的にPRできる国際的な酒類展示見本市への出展支援や海外への情報発信を行うとともに、海外バイヤーとの輸出取引成立に向けた支援も行うことで販路拡大を図ります。（国税庁）
- ・ 品質評価を通じて、泡盛酒造技術の発展及び品質の向上を図るとともに、その結果を国内外の消費者に対して公表します。（沖縄国税事務所）
- ・ 輸出関心事業者の相談を受け、海外マーケット情報、規制・手続等に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援等による輸出の成約に向けた取組を支援します。（農林水産省、（独）日本貿易振興機構）
- ・ 泡盛業界の関心の特に高い国・地域等を対象に、セミナー等による情報提供や展示会・商談会出品支援に取り組みつつ、特に個社支援を強化することで泡盛の着実な輸出増加を図ります。（（独）日本貿易振興機構）

- ・現状、多くの泡盛がタイ産米で製造されることを鑑み、タイと沖縄との架け橋となる泡盛のタイでの販路拡大を図ります。具体的には、タイを対象としたイベントにおいて琉球泡盛の試飲体験の提供やプロモーションのためのブースを設置します。（沖縄県）

（３）品質・技術の向上／人材の育成

- ・プロダクトアウト発想とマーケットイン発想、双方の視点を持つ人材育成を行い、タイムリーな消費者ニーズを踏まえた商品提案が出来る人材を育成します。（沖縄県酒造組合）
- ・沖縄県卸売酒販組合の会員に対して研修を実施し、泡盛の知識の向上を図るとともにインバウンドに対する商品説明能力の向上に取り組めます。（沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）【再掲】
- ・沖縄県小売酒販組合の会員に対して研修を実施し、インバウンドに対する販売力の強化に取り組めます。（沖縄県小売酒販組合連合会、沖縄県卸売酒販組合連合会、沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）【再掲】
- ・品質評価を通じて、泡盛酒造技術の発展及び品質の向上を図るとともに、その結果を国内外の消費者に対して公表します。（沖縄国税事務所）【再掲】
- ・泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）【再掲】

(4) ブランド力の向上

- ・古酒のブランド力向上を図る施策として、県内飲食店を巻き込んで、古酒の日を皮切りに9月を古酒月間（仮称）とし、誘客への導線作りが示せる施策を展開していきます。（沖縄県酒造組合）
- ・首里城の銭蔵を活用することで、琉球泡盛の歴史・文化や存在価値・意義を踏まえて、古酒ブランド力の向上に取り組みます。（沖縄県酒造組合）
- ・泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）【再掲】
- ・地理的表示（琉球）を活用したブランド力向上に取り組みます。（沖縄県酒造組合、沖縄国税事務所）
- ・在外公館等において、会食、レセプション、文化事業等の機会を捉え、泡盛のPRを行います。また、泡盛に特化した事業の企画・実施に取り組みます。（外務省）
- ・泡盛の国内外・老若男女への普及促進へ向け、PR、プロモーションなど他関係先・弊社グループ各社との連携も含め、エアラインとしてのノウハウやツールを活用しつつ施策の展開を図ります。（日本トランスオーシャン航空（株））
- ・琉球泡盛のブランド価値を高め、その魅力をPRするために、テロワール（地域に根ざした原料調達）を推進します。（内閣府沖縄振興局、沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、沖縄県、JAおきなわ、JA沖縄中央会、沖縄県酒造組合、農林水産省政策統括官、農林水産技術会議事務局）
- ・海外における泡盛の認知度及びブランド力の向上を図ることを目的に、文化庁が認定している日本遺産への登録を目指します。認定後は、歴史的、文化的な側面から日本遺産としての泡盛の認知度向上を図る取組を進めます。（沖縄県）

(5) 輸出環境の整備

- ・ 泡盛製造業者の事業展開に必要な資金（工場建設、製造機械購入、長期運転資金、海外展開、担保等）に対して、貸付利率、貸付期間、据置期間及び貸付限度額を優遇している貸付制度を設けており、引き続き、資金需要がある泡盛製造業者の融資相談に対応します。（沖縄振興開発金融公庫）【再掲】
- ・ 輸出の妨げとなっている各国・地域の関税・非関税障壁の削減・撤廃に向けて関係省庁で連携して取り組みます。（外務省、国税庁）

(6) インバウンドとの連携

- ・ クルーズ船内で、クルーズ客を対象とした「泡盛講座」を開催し、泡盛への理解増進と泡盛の購入促進に取り組みます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 県内の酒造所が一堂に集う「島酒フェスタ」と、各地域と各酒造所の繋がりを見出す酒蔵ツーリズム（島酒ツーリズム）のコンテンツを充実し、島酒フェスタと地域との取り組みが横断的に展開できる連携施策に取り組みます。（沖縄県酒造組合）
- ・ 海外プロモーション事業において、泡盛の情報発信、利活用の促進強化などを行います。（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー）【再掲】
- ・ 沖縄県と沖縄県酒造組合が共催する泡盛振興推進部会及び関連するワーキング会議において、観光関連を含む関係団体とともに泡盛業界の取組への協力体制を構築します。（沖縄県、沖縄県酒造組合）
- ・ クルーズ船や、空港国際線ターミナルなど多くの外国人と接触できる機会を捉えて態様に応じたプロモーションを行い、泡盛の魅力を効果的に伝えることで、泡盛の需要を開拓し、商流のきっかけを作ります。（国税庁、沖縄国税事務所）【再掲】
- ・ 平成30年度事業の結果を踏まえ、訪日外国人旅行者にも分かりやすく泡盛の魅力を伝えられるよう、多言語解説文の整備等を行うことで、訪日旅行中の外国人がより深く泡盛の魅力について知る機会を創出します。（観光庁）

2. 具体的な行動

- ・ プロジェクト会員は、それぞれ「1. 行動計画」に記載した内容を実現するため、2020年まで、以下のとおり具体的な行動を実施します。

(1) 情報発信の強化

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	消費者向け提案型 集約サイトを確立 【沖縄県酒造組 合】	泡盛百科の改修に よりスマホ対応や、 多言語対応、また 各酒造の提供コン テンツをまとめた、 消費者向けの提案 型集約サイトを確 立（日々更新）	既存のHPの改修や、 映像及び動画撮影 による、各酒造所 ごとのPVなどを制 作。 また、各酒造所の 旬な取り組みや施 策が情報発信でき るようなメディア としての活用も同 サイトで実施。	・全酒造所の特徴 を紹介するHPを制 作。また、インバ ウンド観光客向け に、わかりやすい HPサイトの閲覧環 境を整備。 ・各酒造所を紹介 する動的ページ (PV)の多言語対応 を実施。 ・島酒ツーリズム 推進に向け、地域 と酒造所のコンテ ンツ充実を図る。 (例えば：泡盛× 食×文化×人×土地 柄など)	2019年度の施策 を踏まえて訂正 作業を行いなが らサイトコンテ ンツのブラシュ アップを図る。	【沖縄県酒造組 合】 098-868-3727
2	観光客に向けた情 報発信【（一財） 沖縄観光コンベン ションビューロー、 沖縄県】	観光情報発信を目 的とする多言語パ ンフレット、多言 語WEB、多言語 SNS等において泡 盛の紹介を行う。	9月4日古酒の日、 11月1日泡盛の日の OCVBが運営する SNSにおいて、英 語圏、フランス語 圏、ドイツ語圏を 対象に古酒や酒造 所パス等の紹介記 事を発信。	沖縄の観光コンテンツの情報を発信す る際に、泡盛の魅力等の特集すること を検討		【（一財）沖縄観 光コンベンション ビューロー】 誘客事業部 海外プ ロモーション課 098-859-6127

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
3	海外のイベント等 での情報発信 【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	海外で実施する各種イベント、旅行博覧会、商談会、観光物産連携事業、沖縄ナイト等において、泡盛の紹介を行う。場合によっては泡盛の試飲も実施する。	沖縄ナイトIN台湾、韓国、香港の会場内で、沖縄県酒造組合や、県内泡盛メーカーの協力を得て泡盛を提供。	海外イベント等における泡盛を紹介する情報発信、国によっては、旅行博や沖縄ナイト等での試飲の機会の提供など		【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
4	国のイベント等を活用した情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	国内外で開催される発信力の高いイベントを活用して琉球泡盛の魅力を発信する。	クールジャパン官民連携プラットフォーム総会における、泡盛の女王によるPR。	クールジャパン官民連携プラットフォーム総会をはじめ、国内外で開催されるイベント等の機会を活用し、情報発信を行う。	内閣府が実施する国内外のイベント等を活用し、琉球泡盛の魅力を発信	【内閣府】 知的財産戦略推進事務局 03-3581-2549
5	インフルエンサー等による情報発信 【内閣府知的財産戦略推進事務局】	クールジャパンアンバサダー等を活用し、琉球泡盛の魅力（歴史や文化、製造方法、飲み方など）を広く国内外に発信する。	11月1日の泡盛の日に知財事務局Facebookにてクールジャパンアンバサダー等に向けて広くに情報発信。	泡盛の日のみならず、イベント等の機会をとらえて情報発信を行う。	SNS等を通じて、琉球泡盛の魅力を国内外へ発信	【内閣府】 知的財産戦略推進事務局 03-3581-2549
6	各種施策における鑑定官の講師派遣 【国税庁】	国税庁施策のみならず、他のプロジェクト会員が実施する施策において、依頼に応じて、酒造技術の専門家である鑑定官を講師派遣する。	シンガポール、香港、タイの在外公館等で開催された琉球泡盛PR施策に鑑定官を派遣し、琉球泡盛の歴史や製法などのレクチャーを行った。	①在外公館のみならず、海外で開催される施策の講師派遣依頼に応じて鑑定官を派遣する。 ②酒造技術の専門家として琉球泡盛の歴史や製法等、施策の目的に沿ったレクチャーを参加者に対し実施する。	各種施策のニーズに応じた琉球泡盛のレクチャー内容を検討し、より琉球泡盛の魅力が伝わるようにする。	【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
7	情報発信ツールの整備と活用 【国税庁、沖縄 国税事務所】	PR動画の作成やパンフレット等の情報発信ツールを整備し、各種PRにおいて活用する。また、効果的なPRを継続的に実施することで、泡盛の認知度を向上させ、輸出拡大に向けた商流のきっかけを作り出す。	アジアからのインバウンド向けに多言語の「沖縄酒蔵マップ」等を作成。	次の①～④を連携して実施することにより、泡盛の国際的な認知度を向上させ、商流のきっかけを作る。 ①空手などの泡盛のストーリーを盛り込んだPR動画の作成やパンフレット等を多言語化するなど情報発信ツールを整備し、各種施策での活用を図る。また、他のプロジェクト会員が実施する施策においても必要に応じて活用を図る。 ②クルーズ船内にてシチュエーションに応じた泡盛の多様な飲み方の提案などのPRを行い、乗客等の興味を引くことにより、SNS等による海外への情報発信を促す。 ③クルーズ船寄港地にて試飲体験及び常設のPRを実施し、購入機会を提供することで消費の増大を図る。 ④空港国際線ターミナルにて泡盛講座などの魅力を伝えるイベントを実施することで、外国人観光客などに対して国際的な認知度の向上を図る。	泡盛に関する情報発信ツールを整備、活用し、国際的認知度を向上させるPRを継続的に実施する	【国税庁酒税課】 03-3581-4161 【沖縄国税事務所 間税課】 098-867-3601

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
8	インフルエンサー等による情報発信 【沖縄国税事務所】	泡盛クイーンズサポーターの活用及び泡盛広報ツールの多言語化等により、泡盛の魅力を発信する。	・歴代泡盛の女王を「泡盛クイーンズサポーター」に委嘱し、泡盛関連イベントに派遣するなど、泡盛の魅力を発信。 ・アジアからのインバウンド向けに多言語の「沖縄酒蔵マップ」等を作成。	・歴代泡盛の女王を「泡盛クイーンズサポーター」に委嘱し、泡盛の魅力のスピーカーとしてプロジェクト各種施策にて活用する。 ・泡盛クイーンズサポーターをプロジェクト等泡盛関連イベントにも派遣し、泡盛普及効果を向上させる。 ・アジアをはじめとする海外からのインバウンド向け情報発信ツールを作成し、プロジェクト各種施策等にて活用する。	情報発信ツールの整備などを通して、琉球泡盛の魅力を発信	【沖縄国税事務所 間税課】 098-867-3601

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
9	海外メディア等を通じた泡盛情報の海外発信 【（独）日本貿易振興機構】	海外の酒類関連見本市・商談会への出品や、日本国内（特に沖縄）への海外メディア・インフルエンサー等招へいの機会等を活用して、泡盛の海外情報発信を強化し、泡盛の輸出促進を図る。	①在外公館等と連携し、海外で泡盛プロモーションイベントを開催。 ②海外バイヤー等の来訪時に泡盛情報を積極的に紹介・提供。 ③泡盛を紹介する英文レポートを作成し、ウェブサイトに掲載。	①関係省庁・団体等と連携し、海外の酒類見本市や関連イベント等で泡盛の情報発信を推進（アジア、欧米等）。 ②海外バイヤー等の来訪時に泡盛情報を積極的に紹介・提供。 ③インフルエンサーを活用し、泡盛情報の海外発信を図る。	取組成果を踏まえ、泡盛情報の海外発信を改善・強化。	【（独）日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部 加工食品・酒類支援課 03-3582-8350
10	琉球泡盛海外輸出プロジェクト・ポータルサイトの構築 【プロジェクト事務局】	本プロジェクトに関する情報、支援施策等について、一元的な情報発信を行う。	・内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトプロジェクト関連情報を掲載。 ・泡盛百科をリニューアルし、同サイト内にプロジェクト・ポータルサイトを開設。	・内閣府沖縄総合事務局ウェブサイトにおいて、引き続きプロジェクト関連情報を掲載。 ・プロジェクト・ポータルサイトに掲載する支援情報の拡充。	随時情報更新	【沖縄総合事務局総務部】 098-866-0047 【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

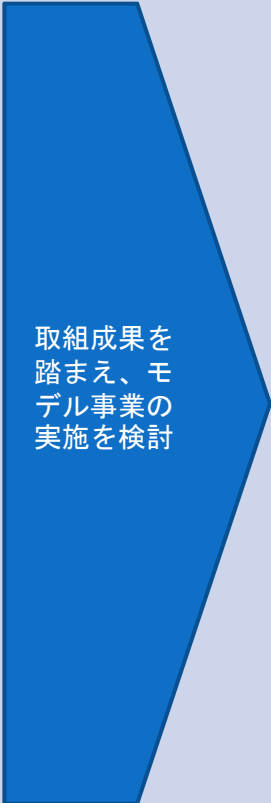
(2) 効果的な販路拡大・市場拡大

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	海外へアプローチするためのペルソナ調査分析 【沖縄県酒造組合】	海外顧客市場ニーズへの適切なマッチングを行うために、国別客層ペルソナ調査分析を実施。泡盛業界での共有のターゲット別嗜好指標を作成し、消費者のモチベーションを促すための機会創出の切り口を見出す。また、上記調査を踏まえた上で、海外の方に好まれる、食事のシーンに合わせた酒器などを含む飲み方提案。	インバウンドの観光客や在沖外国人を主体として、国別消費者の属性調査分析を行い、3月15日（金）に業界向けに調査研究報告会を実施した。各国のアルコールに対する価値観やライフスタイル、また消費形態や情報感度など、消費行動の価値決定基準を報告。	・諸外国ごとの消費者像を提示したうえで、各酒造所ごとに海外展開施策を図る。 ・各酒造所の要望や課題を抽出後に、適時追加のペルソナ調査を実施する。	各酒造所で取り組んだ実績をもとに、想定したペルソナ結果の誤差について、随時定性・定量調査を行い、仮説の鮮度を保つために、調査を実施する。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	国内の大型酒類展示見本市への出展 【沖縄県酒造組合】	各国のバイヤーが来場する国内での大型酒類展示見本市への出展。	日本酒造組合中央会との連携で「FOODEX JAPAN」への出店をはじめ、県の再興PJとの連携による「ツーリズム expo」への出店を行い、泡盛の普及啓発を行った。	2019年同様、国内の大型見本市に出展を行い、泡盛の需要開拓の接点を促しながら、一方で新しいアイデアのコアを見つけるように検討する。	2018、19年度の取組における海外バイヤーの来場状況、商談の成約状況等を分析し、今後の需要拡大に有効な機会の検討	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
3	沖縄国際物流ハブ 活用推進事業 【（公財）沖縄県 産業振興公社・沖 縄県】	ANA航空貨物便の 就航地域を中心に、 アジア主要都市へ の県産品の販路拡 大を目指す県内企 業に対して支援を 実施する。	①海外販路開拓支 援の一環として、 (1)見本市・物産展 等への渡航費用の 一部補助を実施。 ②海外販路開拓支 援の一環として上 海輸入博覧会への 取り纏め出展。	①以下の項目につ いて費用の一部補 助を行う。 (1)見本市・物産展 等への渡航費用 (2)海外バイヤー等 の招聘費用 (3)現地での販売促 進活動費用 (4)商品改良に関す る費用など （申請期間（予 定）：4月～2月） ②中国、台湾にお ける見本市への県 内企業等による出 展を支援する	前年度の実績等 を踏まえ、 引き続き実施	【（公財）沖縄県 産業振興公社】 海外・ビジネス支 援課 098-859-6238
4	沖縄大交易会 【（公財）沖縄県 産業振興公社・沖 縄県】	沖縄の地理的優位 性を活かした国際 物流貨物ネット ワークの構築・更 なる拡大を図る目 的で、日本最大規 模の「食」をテー マとした国際食品 商談会「沖縄大交 易会」を開催する。	沖縄大交易会の実 施を通じて、酒造 メーカーと海外バ イヤーの商談を支 援。	沖縄の国際物流ハ ブを活用して海外 への輸出促進を図 るサプライヤーを 日本全国から募集 する他、アジアを 中心とした国内外 のバイヤーを招聘 する。 （大交易会開催時 期：11月（昨年実 績）） （（サプライヤー 募集期間（予定）4 月～7月（昨年実 績））	前年度の実績等 を踏まえ、 引き続き開催	【沖縄大交易会実 行委員会事務局 （沖縄県産業振興 公社内）】 098-851-7463

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
5	クルーズ船での泡盛の活用促進 【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県】	沖縄に寄港するクルーズ船社に対して、船内における泡盛の活用を働きかける。	船社側から物産の取り扱い等の問い合わせがあった際に、関係する団体や企業を紹介。 （沖縄県酒造組合等）	クルーズ船内において、寄港地の観光案内や特産品を紹介する場を設けることもあることから、そのような機会に泡盛の情報提供や船内のレストラン等での活用を働きかける		【（一財）沖縄観光コンベンションビューロー】 誘客事業部 海外プロモーション課 098-859-6127
6	リゾートウエディングでの泡盛の活用促進【沖縄県】	国内外におけるリゾートウエディング等のプロモーションに併せて、ウエディングにあった泡盛商品の情報発信する。	「沖縄リゾートウエディングフェアin台湾」（10月27日～10月28日開催）において、沖縄県酒造組合が製作した琉球泡盛パンフレットを会場で配布。	リゾートウエディングのパーティー等での泡盛の活用や、引き出物として、ウエディングのイメージ（泡盛が入るガラス、デザイン等）に即した商品を沖縄ならではの贈答品として情報発信		【沖縄県】 文化観光スポーツ部観光振興課 098-866-2764
7	【（株）沖縄県物産公社】	米国での泡盛取扱業者と県内メーカーとの調整（輸出手配、販促活動等）	現地業者の要望に基づき、広告、見本市出展、試飲会開催を検討する。 （西海岸中心）	販促活動の強化及び得意先(小売・卸)の開拓		【（株）沖縄県物産公社】 海外ビジネス課 098-859-6325
8	【（株）沖縄県物産公社】	台湾での泡盛取扱業者と県内メーカーとの調整（輸出手配、販促活動等）	販路拡大及び輸出拡大に向けた商品提案と販促活動の強化	販売強化や認知度向上のため、見本市や物産展への参加を検討。2018年度取組の強化	30年度の取組を全米へ拡大 現在のところ未定 （現地業者、メーカーの意見ヒアリングを検討）	【（株）沖縄県物産公社】 海外ビジネス課 098-859-6325

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
9	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (特産品振興貸付 制度) 【沖縄振興開発金 融公庫】	貸付先：泡盛を製 造する者 利率：設備 特別 利率、運転 基準 利率 貸付期間：設備20 年、運転7年 据置期間：設備・ 運転とも2年 貸付限度額：設備 720百万円、運転 250百万円	① 4月～1月融資 実績：3社、18 0百万円。 ② 公庫調査レポー ト「泡盛メーカー の現状と課題」を 踏まえて資金面か ら支援。	① 貸付制度の拡充 (※)により、海外 輸出に向けた取組 みを初期段階から 金利優遇で支援予 定。 ※ 運転資金に係る特別利率 の対象事業を拡充。 (拡充前) 海外への販売強化事業のため の資金に限定。 (拡充後) 海外輸出取組の初期段階 (異業種連携の商品開発、 マーケティング等の共同化、 同業者や商社等と連携した 輸出等)の資金にも拡充。	各事業者の個 別の資金需要 に対応	【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785
10	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事 業) 【沖縄振興開発金 融公庫】	上記のうち、泡盛 古酒製成事業に係 るものは、 貸付期間：設備20 年、運転10年 据置期間：設備5年、 運転3年 貸付限度額：設備 720百万円、運転 480百万円 と優遇。	① 4月～1月融資 実績：1社、15 0百万円。	各事業者の個別の資金需要に対応		【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785
11	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制 度) 【沖縄振興開発金 融公庫】	泡盛製造業者につ いては、不動産担 保に代わり、泡盛 の在庫を担保とし て提供が可能。	① 4月～1月融資 実績：なし。	各事業者の個別の資金需要に対応		【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
12	沖縄酒類製造業の 自立経営促進事業 【内閣府沖縄振興 局・沖縄総合事務 局・沖縄県】	海外への販路開拓 などに向けた先導 的・モデル的な事 業の実施を泡盛酒 造所に委託し、そ の取組結果、ノウ ハウ等を公表する ことにより、泡盛 製造業全体として 海外展開の動きの 促進を図る。	①中国市場向けに、 白酒として認知さ せるため、ブラン ディング、PR、テ ストマーケティング を実施。 ②欧州ハードリ カー市場向けに、 新しいハードリ カーとして認知さ えるため、ブラン ディング、PR、テ ストマーケティング を実施。 ③泡盛のブランド 価値を高めるため、 県産長粒種米泡盛 を製造。	①中国市場向けに、 販売ネットワーク の構築、流通面の 確保等を実施。 その他、韓国など のアジア諸国に対 象を広げ、PR活動 等を実施。 ②ハードリカー市 場向けに、イン ポーターの開拓、 北米、ロシアなど の新たな国・地域 のマーケットリ サーチ等を実施。 ③県産長粒種米泡 盛に加えて、食と のマッチングを ターゲットとした PR活動等を実施。 ①②③のほか、 世界の沖縄出身者 や空手家にター ゲットを広げたプ ロモーション事業、 ビジネス関係者 との連携等を実施。	 取組成果を 踏まえ、モ デル事業の 実施を検討	【内閣府】 沖縄振興局調査金 融担当参事官室 03-6257-1673 沖縄総合事務局総 務部 098-866-0047

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
13	空手とのコラボによる市場拡大 【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局・沖縄県酒造組合】	沖縄発の世界ブランドである空手と泡盛の関係性を活用し、空手家を新たなターゲット層とし、市場拡大を検討する。空手関係者との結節点を見出し、関係構築に努めるとともに、新たなマーケティング活動を行う。	・PR動画（沖縄空手と琉球泡盛の関係の視点）、フライヤー、泡盛ミニボトルを制作し、「第1回沖縄空手国際大会」（那覇）において海外空手家に対するPR事業の実施 ・海外空手家に対する情報発信を強化するため、琉球泡盛の販路拡大の視点から沖縄空手の道場等を通して主に外国人空手家らの泡盛に対するアプローチ（愛飲・お土産等）に焦点をあてたPR動画を制作。	2018年度に制作したPR動画を引き続きYouTube等を通じて情報配信する他、東京オリンピックを見据えた海外空手家への販路拡大を検討。	オリンピックに向けた海外空手家への普及SNS等による情報発信	【内閣府】 沖縄振興局調査金融担当参事官室 03-6257-1673 沖縄総合事務局総務部 098-866-0047 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
14	泡盛海外展開支援 【内閣府沖縄総合事務局】	企業の海外展開を支援する「沖縄国際ハブクラスター事業」の一環として、欧米への展開を図る企業4社の取組を支援するため、沖縄総合事務局の有する支援メニューの活用や、関係機関等と連携し、総合的な支援を行う。	・11月29日、30日「泡盛海外展開事業展～いいね! AWAMORI～」(沖縄大交易会併催事)実施。 ・2019年3月オランダ・デンマークにおけるマーケティング調査支援を実施。	・事業進捗に応じ、沖縄総合事務局の有する支援メニュー等の活用や、関係機関等と連携し、マーケティング調査、プロモーションを支援(欧州、米国)	事業進捗に応じ、マーケティング調査、プロモーションを支援(欧州、米国)	【内閣府沖縄総合事務局】 経済産業部国際室 098-866-1740
15	海外の大型酒類見本市への出展支援 【国税庁】	各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市への出展を支援する。	各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市への出展を支援	①各国の酒類専門バイヤーが来場する国際的な酒類展示見本市において出展支援や効果的なPRを行う。 ②出展支援に併せて、各国の酒類専門バイヤーとの輸出取引が成立するよう効果的な支援を行う。 ③各種施策で入手した情報を分析・活用することにより、効率的なビジネスマッチングが行えるよう支援する。	海外バイヤーの来場状況、商談の成約状況等を分析し、出展先を検討	【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
16	海外需要創出等支援対策事業 【農林水産省】	(独)日本貿易振興機構が行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援する。	(独)日本貿易振興機構が行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援	(独)日本貿易振興機構が行う泡盛を含む輸出関心事業者に対する海外マーケット、規制・手続に関する情報提供・アドバイス、商談会等への出展支援の取組を農林水産省が支援	取組成果を検証しつつ、支援の実施	【農林水産省】 輸出促進課 03-3502-3408 【(独)日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部 加工食品・酒類支援課 03-3582-8350

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
17	泡盛特化型輸出支援パッケージ 【（独）日本貿易振興機構】	泡盛業界の関心の特に高い国・地域等を対象に、セミナー等による情報提供や展示会・商談会出品支援に取り組みつつ、特に専門家による個社支援を強化することで泡盛の着実な輸出増加を図る。	①泡盛輸出促進セミナーを開催。 ②泡盛酒造所と国内輸出商社とのマッチング商談会を開催。 ③海外食品・酒類バイヤー招へい時に、泡盛関係企業との商談会を開催。 ④海外見本市に泡盛関係企業の出品を支援。 ⑤海外各地において泡盛試飲&セミナーなどプロモーション活動を実施。	①泡盛の輸出相談・情報提供を実施。 ②泡盛輸出促進セミナーを開催。 ③海外食品・酒類バイヤー招へい時に、泡盛関係企業との商談会を開催。 ④海外での酒類関連展示会・商談会等（アジア、欧州等）への泡盛関係企業の出品支援。 ⑤着実な輸出を図るため、専門家や海外コーディネーター、国内外事務所等を活用して泡盛関係企業の個社支援を実施・強化。	取組成果を踏まえ、泡盛の輸出支援を改善・強化。	【（独）日本貿易振興機構】 沖縄貿易情報センター 098-859-7002 農林水産・食品部 加工食品・酒類支援課 03-3582-8350

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
18	沖縄で開催される タイ・フェスティ バルにおける泡盛 プロモーション 【沖縄県】	県内開催に向けて 調整を進めている タイ・フェスティ バルにおいて、タ イ米で製造される 琉球泡盛を堪能し てもらうことで、 タイをルーツとす る琉球泡盛への関 心を高め、タイと 沖縄の架け橋とな る泡盛の振興に繋 げていく。	イベントの開催に 向けた関係機関と の調整	タイ・フェスティ バル（タイと沖縄 の交流）における 琉球泡盛の試飲体 験の提供やプロ モーションのため のブース出展	2019年度の 取組状況等 により検討	【沖縄県】 商工労働部ものづ くり振興課 098-866-2337 ※泡盛プロモー ション 文化観光スポーツ 部観光振興課 098-866-2764 ※イベント開催

(3) 品質・技術の向上／人材育成

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	横断的かつ俯瞰性を兼ねた中核人材育成 【沖縄県酒造組合】	プロダクトアウト発想とマーケットイン発想、双方の視点を持つ人材育成を行い、タイムリーな消費者ニーズを踏まえた商品提案が出来る中核人材を育成。	内閣府の沖縄型産業中核人材育成事業を活用し、官能能力の底上げと、的確な商品開発力の向上が図れるように人材育成を行った。	2017,2018年度の事業実施を踏まえ、官能とマーケティングによる人材育成について、各酒造所ごとに参加費を捻出し、2019年度より自走化し、実施する。	泡盛業界について課題を抽出し、それに対応できる人材育成を再度精査していく	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
2	酒類卸売業者の泡盛に関する知識の向上 【沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県小売酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	沖縄県卸売酒販組合の会員へ泡盛に関する知識の向上を図るための研修を実施。	泡盛に関する基本的な知識の向上及びインバウンド向けの販売力向上の研修を実施。	研修を実施し、泡盛に関する基本的な知識や商品の説明能力の向上を図る。	泡盛フレーバーホイール等を活用した商品説明能力の向上を目的とした研修を実施	【沖縄県卸売酒販組合連合会】 090-1360-8745
3	訪日外国人に対する販売力強化 【沖縄県小売酒販組合連合会・沖縄県卸売酒販組合連合会・沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	沖縄県小売酒販組合の会員へ訪日外国人への販売力強化を目的とした泡盛に関する知識の向上を図るための研修を実施。	インバウンドに対する接客や陳列方法など泡盛の販売力を強化する研修を実施。	研修を実施し、インバウンドに対する接客や陳列方法などを習得し、泡盛の販売力を強化する。	泡盛の販売力を強化し、訪日外国人客の泡盛購買意欲が高まるような売場環境作りを目指す	【沖縄県小売酒販組合連合会】 098-943-8775

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
4	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (特産品振興貸付 制度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
5	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事 業) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
6	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制 度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
7	泡盛鑑評会におけ る品質評価の実施 及び結果公表 【沖縄国税事務 所】	品質評価を通じて、 泡盛酒造技術の発 展及び品質向上を 図るとともに、そ の結果を国内外の 消費者に対して公 表する。	国税職員や学識経 験者などの専門家 のほか、外国人審 査員も交えて品質 評価を実施。 その結果は日本語 のほか、英語及び 中国語でも公表。	国税職員や学識経 験者などの専門家 のほか、外国人審 査員も交えて品質 評価を実施する。 その結果は日本語 のほか、英語及び 中国語でも公表す る。	表彰式や結果 公表などの実 施方法につい て検討しつつ、 継続して実施	【沖縄国税事務所 間税課】 098-867-3601

(4) ブランド力の向上

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	沖縄県産泡盛の地理的表示「琉球」の活用促進 【沖縄県酒造組合・沖縄国税事務所】	GI「琉球」の事業者における活用、及び消費者向けPR活動を実施する。	・日EU・EPA交渉におけるGI「琉球」保護の合意、平成30年2月の指定内容見直しなどを契機とする周知啓発イベントを実施。 ・泡盛百科において地理的表示の説明ページを設け、周知。	・引き続き泡盛百科での地理的表示の周知を図る。 ・酒造組合が行う、催事を始め、様々な発信業務において、地理的表示の周知・促進を図る。	2018、2019年度の取組を踏まえ、催事、HP等で引き続き地理的表示の周知啓発を図る。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727 【沖縄国税事務所間税課】 098-867-3601
2	「古酒の郷」を古酒ブランド発信基地として活用 【沖縄県酒造組合】	各酒造所の原酒をブレンド貯蔵した「古酒の郷」を古酒のランドマークとして、古酒全体のブランドイメージを向上する。	古酒の郷の貯蔵ブレンド商品化に伴う、市場調査と商品及びネーミング・パッケージ制作などを企画・実施。	古酒の日を皮切りに、古酒の日月間（仮称）を沖縄全域対象に飲食店及び業務店の協力のもと販促施策を展開。	更なる古酒の啓蒙を促すために、様々な施策と掛け合わせた体験企画を立案していく	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
3	首里城による琉球泡盛の歴史的価値に伴うブランド訴求活用 【沖縄県酒造組合】	観光名所である首里城銭蔵を活用することで、琉球泡盛の歴史や文化、またその存在価値や意義を踏まえて、古酒ブランディング力の向上を促す。	11/1の泡盛の日を皮切りに、琉球王国の当時を彷彿させるイベントを開催。インバウンド観光客へ泡盛の歴史説明や試飲体験などを実施。	沖縄観光のランドマークである、首里城での泡盛プロモーションを実施し泡盛体験機会や泡盛への、理解促進を図る。	首里城公園の協力のもと、銭蔵での年間通じた常設の販促施策が展開できるよう企画立案を図る。	【沖縄県酒造組合】 098-868-3727

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
4	【（株）沖縄県物産公社】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
5	【（株）沖縄県物産公社】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
6	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （特産品振興貸付制度） 【沖縄振興開発金融公庫】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
7	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （泡盛古酒製成事業） 【沖縄振興開発金融公庫】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				
8	沖縄振興開発金融公庫貸付制度 （泡盛在庫担保制度） 【沖縄振興開発金融公庫】（再掲）	※再掲のため省略 「（２）効果的な販路拡大・市場拡大」を参照				

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
9	琉球泡盛のPR 【外務省】	各国・地域の在外公館等にて、会食、レセプション、文化事業等の機会を活用し、任国要人や現地バイヤー等に、泡盛のPR及び売り込みを実施。	- 全在外公館に対し、本プロジェクトの立ち上げについて情報共有するとともに、各館にて積極的に泡盛に特化したPR事業等を実施するよう指示。 - 特に、泡盛の海外輸出先としてポテンシャルの高い地域（バンコク、上海、香港、サンフランシスコ、ホノルル、ロサンゼルス等）において現地政府要人、バイヤー・飲食業関係者、メディア等を対象とした各種PR事業を実施。	2018年度に実施したPR事業の効果・問題点等を踏まえ、在外公館等での泡盛PR事業をより効果的に実施する。	各地のグッドプラクティスを横展開し、効果的なPRを促進	【外務省】 経済局官民連携推進室 03-5501-8336
10	琉球泡盛のPR 【日本トランスオーシャン航空（株）】	泡盛の国内外・老若男女への普及促進向け、PR、プロモーションなど他関係先・弊社グループ各社との連携も含め、エアラインとしてのノウハウやツールを活用しつつ施策の展開を図る。	「國酒・琉球泡盛応援プロジェクト」組成 「泡盛グランプリ」開催 - 沖縄高専銘柄「香仙」とのコラボ企画および機内販売 - 海外アンテナショップ（パリ）での沖縄フェア開催による泡盛の販路及び認知度拡大策	- 東京五輪前年というタイミングを生かしたスポーツ（空手）とのコラボによる普及促進。 - 同様にスポーツツーリズムとのコラボによるインバウンド誘致型による普及促進及び海外におけるプロモーション。	- 五輪イヤーというタイミングを生かしたスポーツ（空手）とのコラボによる普及促進。 - 同様にスポーツツーリズムとのコラボによるインバウンド誘致型による普及促進及び海外におけるプロモーション。	【日本トランスオーシャン航空（株）企業価値推進部】 098-857-3198

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
11	琉球泡盛テロワールプロジェクトの推進 【内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、沖縄県、JAおきなわ、JA沖縄中央会、沖縄県酒造組合、農林水産省政策統括官・農林水産技術会議事務局】	琉球泡盛のブランド価値を高め、その魅力をPRするためには、テロワール（地域に根ざした原料調達）が重要。 このため、泡盛製造業者と生産者のマッチングにより、県産長粒種米を使用した泡盛製造を推進。	泡盛製造業者、米の生産地の市町村及び関係団体に向け、テロワールのメリットについて説明会を開催。 沖縄総合事務局を中心にプロジェクト推進チームを設置し、泡盛製造業者の需要の把握、生産者を対象とした説明会を開催。	泡盛製造業者の需要を把握するとともに、長粒種米の生産に取り組む米生産者とのマッチングを推進し、2019年の二期作から長粒種米の生産者での生産を開始。	2019年度の取組結果を踏まえ、泡盛製造業者の需要や米生産地の状況に応じて、県産長粒種米を使用したテロワールをさらに推進	【内閣府沖縄振興局】振興第二担当 03-6257-1668 【沖縄総合事務局】農林水産部生産振興課098-866-1653
12	琉球泡盛の日本遺産への登録 【沖縄県】	海外における泡盛の認知度及びブランド力の向上を図ることを目的に、文化庁が認定している日本遺産への登録を目指す。	日本遺産登録に向けた関係機関との調整及び申請手続 申請内容 「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」～「守礼の心」が育んだ食文化～	申請中 ※2019年5月 日本遺産認定の発表	2019年度の取組状況等により検討	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 ※泡盛関係 文化観光スポーツ部文化振興課 098-866-2768 ※琉球料理、芸能関係

(5) 輸出環境の整備

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (特産品振興貸付 制度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
2	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛古酒製成事 業) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				
3	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 (泡盛在庫担保制 度) 【沖縄振興開発金 融公庫】(再掲)	※再掲のため省略 「(2) 効果的な 販路拡大・市場拡 大」を参照				

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
4	沖縄振興開発金融 公庫貸付制度 （海外展開貸付制 度） 【沖縄振興開発金 融公庫】	貸付先：海外展開 事業を行う者 利率：基準利率～ 特別利率 貸付期間：設備20 年、運転7年 据置期間：設備・ 運転とも2年 貸付限度額：設備 720百万円、運転 250百万円	①4月～1月融資 実績：なし。	各事業者の個別の資金需要に対応		【沖縄振興開発金 融公庫】 融資第二部中小企 業第一班 098-941-1785
5	関税引き下げに向 けた交渉 【外務省、国税 庁】	各国・地域との協 議や経済連携協定 交渉を通じて、関 税の引き下げに係 る働きかけを実施。	各種経済連携協定 交渉等を通じて、 関税の引き下げに 係る働きかけを実 施。	各種経済連携協定交渉、日台貿易経済 会議等を通じた関税引き下げの働きか けを継続		【外務省】 経済連携課 03-5501-8341 中国・モンゴル第 二課 03-5501-8439 【国税庁酒税課】 03-3581-4161
6	米国における蒸留 酒の容器・容量規 制の緩和 【国税庁】	米国における蒸留 酒の容器・容量規 制の緩和によって、 国内では一般的な 4合瓶等の流通を 可能とする。	引き続き、緩和の 実現に向けた働き かけを継続。 ※米国政府ホーム ページに、規制の 改正を検討してい る旨公表されてい る。	引き続き様々な機会を捉えて、規制緩 和を働きかける		【国税庁酒税課】 03-3581-4161

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
7	海外販路拡大に向けた支援窓口への誘導 【沖縄国税事務所、 （独）日本貿易振興機構】	輸出に当たり、泡盛事業者へ輸出支援窓口である （独）日本貿易振興機構への誘導を行い、輸出の活性化を図る。	沖縄県酒造組合を通じて泡盛製造者に対して（独）日本貿易振興機構を紹介し、輸出支援窓口の活用を促した。	引き続き、沖縄県酒造組合を通じて、 （独）日本貿易振興機構との輸出相談の活発化を促すとともに、泡盛事業者からの輸出に係る相談に応じて（独）日本貿易振興機構の窓口へ案内し、輸出に有効な情報の入手を支援することで輸出の活性化を図り、商流へ繋げるきっかけとする。	輸出に係る相談に応じて（独）日本貿易振興機構窓口への案内を継続的に行う。	【沖縄国税事務所 間税課】 098-867-3601

(6) インバウンドとの連携

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
1	クルーズ船内での 包括的プロモー ション 【沖縄県酒造組 合】	クルーズ船内で、 クルーズ客を対象 とした「泡盛講 座」を開催し、泡 盛への理解増進を 図るとともに、泡 盛の観光土産とし ての購入促進を図 る。	ゲンティン香港の「ワ ールド・ドリーム」船内 でプロモーションを 実施。泡盛の試飲会 や、泡盛レチャーな どを数回開催し、泡 盛の歴史的・文化的 な説明とともに、泡 盛カクテルなどの提 供も行い、泡盛の購 入機会の充実を図 った。	大型クルーズ船内 でゲストを対象に 「泡盛講座」や 「泡盛の試飲及び 即売会」「コース 料理と泡盛のマリ アージュ」などの 船内プロモーション を展開する。	船内プロモーションと若狭 バース等での受入プロモ ーションとの連携が図 れる施策を展開して いく。	【沖縄県酒造組 合】 098-868-3727
2	地域性を兼ねた包 括的酒蔵ツーリズ ムの展開 【沖縄県酒造組 合】	県内酒造所が一堂 に集結する「島酒 フェスタ」で、観 光客を対象に、地 域DMOとの連携施 策を図った包括的 な酒蔵ツーリズム に取り組む。	地域と酒造所を簡 易的に取り上げた 「島酒ツーリズム」 のパンフレット作 成を行い、地域と 酒造所の親和性や 結びつきを見出す ことを発信して きた。	沖縄県内6エリア ごとの酒蔵ツーリ ズム企画を展開し 、地域と酒造所の 組合せで、旅行会 社などとの施策連 携をしながら、地 域ごとの島酒ツー リズムを展開して いく。	地域の産業や文化、 また地域振興を考 慮した上での酒造 所のあり方を踏ま えた、ツーリズム のあり方を検討す る。	【沖縄県酒造組 合】 098-868-3727
3	海外航空会等への 酒造所PR【(一 財)沖縄観光コン ベンションビュー ロー】	海外から沖縄に招 請する航空会社、 旅行社、メディア 関係者等に酒造所 を視察してもらう。	ヨーロッパ圏から の旅行社及びメ ディア招聘の際の 行程内に、県内酒 造所見学実施。	インバウンド観光の 魅力として、酒造 所等の紹介による 機内誌やメディア 媒体での記事掲載 を働きかけること を検討		【(一財)沖縄観 光コンベンション ビューロー】 誘客事業部 海外 プロモーション課 098-859-6127

	支援メニュー 【団体名】	概要	2018年度	2019年度	2020年度	問い合わせ先
4	泡盛振興推進部会 ・海外販路開拓WT 【沖縄県、沖縄県 酒造組合】	外国人観光客を中心とした海外における泡盛の売り方、見せ方、飲み方の提案等や現状の課題等について、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	平成30年8月2日に、①琉球泡盛海外輸出プロジェクトとの連携、②酒造組合の取組について、意見交換を実施した。その結果、酒造組合による海外出荷増に向けた調査分析【取組No.(2)-1】の取組の推進に繋がった。	当該テーマについて、現状の取組の確認等を行い、関係団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	2019年度の 取組状況等により検討	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
5	泡盛振興推進部会 ・クルーズ船関連WT 【沖縄県、沖縄県 酒造組合】	増加する海外からのクルーズ船での泡盛普及促進や入港後の酒蔵ツーリズムへの誘導等について、構成団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	平成30年8月2日に、①琉球泡盛海外輸出プロジェクトとの連携、②酒造組合の取組について、意見交換を実施した。その結果、酒造組合によるクルーズ船内での泡盛プロモーション【取組No.(6)-1】の実施に繋がった。	当該テーマについて、現状の取組の確認等を行い、関係団体と意見交換を行うとともに、泡盛業界内で情報共有を行う。	2019年度の 取組状況等により検討	【沖縄県】 商工労働部ものづくり振興課 098-866-2337 【沖縄県酒造組合】 098-868-3727
6	訪日外国人による 酒蔵訪問の受入体制整備 【観光庁】	訪日外国人旅行者の泡盛の酒蔵における滞在満足度向上を目的に、受入環境整備や滞在型コンテンツの検討等を行うことで、酒蔵ツーリズムの一層の推進を図る。	応対マニュアル作成や通訳案内士等への講習会を通じ、酒蔵の外国人受入の準備を進めた他、訪日外国人向けモニターツアーを実施し、酒蔵案内時の課題を抽出した。	2018年度の事業結果を踏まえ、酒造団体等と連携し、各地の泡盛に関する分かりやすい解説文の整備を実施予定。	泡盛に関する酒蔵ツーリズム振興策を検討	【観光庁】 観光資源課 03-5253-8924

（参考） 泡盛酒造所の具体的な行動

- 「3年後に倍増」計画を実現するため、泡盛酒造所は、2020年まで、それぞれ以下のとおり具体的な行動を行います。

事業名	概要	2018年度	2019年度	2020年度
中国市場への展開	中国市場での泡盛出荷拡大を図るべく、商社が中国に設置する沖縄の特産品を取り扱うショールーム（沖縄館）にブースを設置。販売員による試飲・商品の説明を行い、泡盛の購入と卸取引の商談も常時実施。	中国市場に向けて、高アルコール度数での展開を実施と、あわせてインバウンドに向けての取り組みも実施。 中国市場向けに、琉球泡盛と琉球もろみ酢をセットにしたPRを実施。	中国：王国貢酒を継続的に展開。 台湾：現地企業とのPB製品開発を提案。	2019年度の施策実施先を重点的に、継続した取引を現地インポーターと深耕していく。
アジア市場への展開	外国人観光客が自国に帰ってからも売り上げに繋がるようなシステム作り 県内企業と現地営業を展開	韓国を中心とした輸出がスタート。現地国での展示会出展の強化を始め、同行営業に力を入れている。 特に中国にはリキュールを中心に輸出が広がっている。	韓国を中心に、台湾や中国、タイなどへ、展示会出展の強化を図っていく。また現地インポーターとローラー営業を続けていく。 中国に続いて、マレーシアやシンガポールでのリキュールの輸出を広げていく	リキュールをアジアを中心に、ヨーロッパへの輸出拡大を図っていく

事業名	概要	2018年度	2019年度	2020年度
欧米市場への泡盛の展開	欧米市場への、ハードリカーとしての泡盛の展開を図るべく、ボトル等の制作、プロモーション、情報発信の強化を行う。	オリジナルボトルを製作し、アイスランドを中心に輸出を展開。アイスランドでカクテルコンペを開催し、泡盛セミナーも実施。ベルギーなどでも泡盛セミナーを開催した。	ロンドン、ベルリンへの展示会に出展。ヨーロッパでは泡盛セミナーの開催。	アメリカでの展示会をはじめ、泡盛セミナーの開催を実施。
泡盛カクテルレシピ開発及びレストラン展開	北米市場での泡盛出荷拡大、図るべく北米のバーテンダーに依頼して泡盛ベースのカクテルを作成。現在3店舗でメニュー掲載。イベント開催、レストラン内での泡盛（沖縄）セミナーを通じてAWAMORIを飲酒シーンに入れ込む。	北米地区に展示会参加。北米再大手問屋との業務調整を実施。	ラスベガスホテルとのコラボ。レストラン特化型のプロモ実施。インフルエンサーの開拓。	北米地区への泡盛認定プログラムの導入。北米地区へ県産米使用泡盛の流通
		樽貯蔵リキュールを北米へ輸出がスタート	樽貯蔵リキュールについて、北米市場を中心に、香港のやインドネシアなどへの展示会に拡げていく	

中国銘酒 貴州茅台酒

き しゅう まお たい しゅ

日和商事株式会社
NICHIIWA SHOJI CO.,LTD.

貴州茅台酒(きしゅうまおたいしゅ) とは ①



- 貴州省 茅台鎮でのみ生産されている中国で最も有名な白酒 アルコール度数 53%
- 生産会社 貴州茅台酒股份有限公司
- 世界三大蒸留酒
(スコッチウイスキー、コニャックブランデー、茅台酒)
- 製造期間約5年
- 店頭標準価格 1本あたり約33,000円

貴州茅台酒(きしゅうまおたいしゅ) とは ②

- 貴州茅台酒股份有限公司

時価総額 約18兆円 (2019年3月時点)

- 2018年 生産量 約4.96 万トン(前年比約16%増)

- 2018年 売上額 約654.87億元 (日本円 約1.1兆円 前年比約25%増)

- 中国国外の輸入総代理店数 115社

(日本、アメリカ、オーストラリア、イタリア、ロシア、イギリス、インド等) 2018年時点



贵州茅台（国际）营销网络图

貴州茅台酒 世界の輸入販売代理店



貴州茅台酒(きしゅうまおたいしゅ) の歴史

- 1915年 パナマ万国博覧会で金賞受賞
《酒瓶割リエピソード》
- 1949年 「国宴指定用酒」となる
- 1953年 香港・マカオを經由して国際市場に参入
- 1972年 日中国交正常化の式典で両首相が
貴州茅台酒で乾杯したことで、日本でも
有名になる。
- 2018年 時価総額で蒸留酒メーカー世界1位に



貴州茅台酒(きしゅうまおたいしゅ)の海外戦略

- 世界各地に輸入総代理店（華僑を最大活用）
- 各代理店へ広告宣伝の協力
- 各国に合わせた商品の開発





2016年
HOTEL The Parisian Macao
限定茅台酒



2018年
オーストラリア限定茅台酒

日本市場における販売戦略

- その時代と市場に合った価格設定
- 空港免税店での販売
- インパクトのある広告宣伝(テレビ、看板、新聞、雑誌、グッズ)
- 販売ターゲットが集まるイベントに積極的に協賛

安倍総理大臣への「琉球泡盛」の贈呈について



・平成31年4月8日(月)、沖縄県酒造組合の佐久本会長と泡盛の女王が官邸を訪問し、安倍総理及び宮腰大臣に「琉球泡盛」を贈呈しました。

・安倍総理からは、沖縄に訪れる多くの観光客に泡盛を味わってほしい旨、さらに泡盛輸出プロジェクトやテロワールプロジェクトについて、沖縄にとって非常に重要であり、ぜひ頑張ってもらいたい旨の発言がありました。

泡盛の女王から25年ものの古酒(安倍総理の議員在職年数と同じ。)の贈呈



左から知念さん、砂邊さん、佐久本会長、安倍総理、宮腰大臣、喜納さん



甕入れ(古酒作り)の体験。なお、この甕は、4月13日・14日に那覇で開催される「第2回 島酒フェスタ」で展示された後、組合において貯蔵される予定です。



宮腰大臣への贈呈

第2回島酒フェスタについて



開催日時：平成31年4月13日（土）10:30～19:00
14日（日）11:30～19:00

会場：沖縄セルラーパーク那覇（奥武山公園）

主催：沖縄県、那覇市、沖縄県酒造組合

後援：沖縄総合事務局、沖縄国税事務所、
NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球放送、
琉球朝日放送、琉球新報社、沖縄タイムス社、
ラジオ沖縄、FM沖縄

イベント概要

- 昨年、ドイツのビールの祭典「オクトーバーフェスト」や、「にいがた酒の陣」（新潟県酒造組合主催）を参考に、「泡盛の祭典」として泡盛業界初の開催。その第二弾として今年も開催。
- 特に若者や女性、県外観光客をターゲットとして、泡盛の魅力を伝え、泡盛の消費拡大につなげることを目的。
- 会場では沖縄県内全47泡盛酒造所の泡盛が試飲できるほか、展示即売会で購入も可能（40酒造所）。そのほか、「銘柄当てトーナメント」やライブ演奏、ラジオ公開生放送など、様々なイベントを実施。
- 2日間で1.5万人の来場を目標（去年は2日間で約1.2万人が来場）。

**泡盛酒造所の海外輸出に向けた取組を官民一体となって後押しする
「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」の関連イベント**